

第3回 大阪・未来医療 フォーラム

～iPS細胞 実用化への道筋～

大阪府では、未来医療国際拠点「Nakanoshima Qross（中之島クロス）」を核として、再生医療をはじめとした未来医療の産業化を推進しています。

iPS細胞などの再生医療による治療を、多くの方が当たり前を受けられるようになるためには、その「実用化」に向けた道筋を社会全体で共有することが必要です。

今年度の大阪・未来医療フォーラムは、「iPS細胞 実用化への道筋」をテーマに、研究や臨床の最前線で活躍する企業、アカデミアの第一人者の方々にご登壇いただき、未来医療の実用化への道筋を議論します。

申込締切

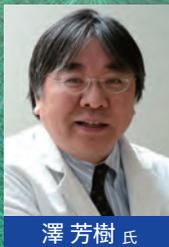
【会場聴講】2025/9/24(水) 会場定員200名

【オンライン聴講】2025/10/3(金)

※イベント終了まで



奥村 健志 氏



澤 芳樹 氏



栗本 康夫 氏



長船 健二 氏



木村 徹 氏



鈴木 文太郎 氏



久保田 文 氏

Program

9:30~9:40	主催者挨拶 奥村 健志 氏 大阪府 商工労働部 未来医療産業化推進監
9:40~10:10	基調講演 未来医療の社会実装へ Nakanoshima Qrossが果たす役割 澤 芳樹 氏 未来医療推進機構 理事長
10:10~10:50	講演 iPS細胞が切り拓く網膜の再生医療 栗本 康夫 氏 神戸市立神戸アイセンター病院 院長
11:00~12:00	パネルディスカッション 再生医療の現在地、次のステップと課題 木村 徹 氏 住友ファーマ 代表取締役社長 長船 健二 氏 京都大学 iPS細胞研究所 副所長 教授 鈴木 文太郎 氏 アステラス製薬 プライマリ・フォーカス・リード Blindness & Regeneration <モデレーター> 久保田 文 氏 日経バイオテック編集長

※プログラム、講演内容は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

主催

大阪府

共催

一般財団法人未来医療推進機構

会場

コングレスクエア大阪中之島
(Nakanoshima Qross (中之島クロス) 1階) (大阪市北区中之島4丁目3番51号)

後援

一般社団法人 大阪府医師会、特定非営利活動法人 大阪難病連、一般社団法人 全国心臓病の子どもを守る会 大阪支部、
一般社団法人 全国パーキンソン病友の会 大阪府支部、大阪府網膜色素変性症協会(JRPS 大阪)、大阪脊柱靭帯骨化症友の会(大阪OPLL友の会)

第3回 大阪・未来医療フォーラム

～ iPS細胞 実用化への道筋 ～

澤 芳樹 氏 未来医療推進機構 理事長 / 大阪けいさつ病院 理事長・院長 / 大阪大学 名誉教授



1980年大阪大学医学部卒業後、同大学医学部第一外科に入局。フンボルト財団奨学生としてドイツMax-Planck研究所心臓生理学部門、心臓外科部門に留学。大阪大学大学院医学系研究科外科学講座 心臓血管・呼吸器外科主任教授、大阪大学付属病院未来医療センター長、大阪大学医学部長、日本再生医療学会理事長、日本胸外科学会理事長などを歴任。現在は、未来医療推進機構理事長、大阪けいさつ病院院長、大阪大学名誉教授。2027年には第32回日本医学会総会会頭も務める。2020年紫綬褒章 受章。

栗本 康夫 氏 神戸市立神戸アイセンター病院 院長



1986年 京都大学医学部卒業、1995年 京都大学大学院医学研究科博士課程(認知行動脳科学)修了、1997年 信州大学医学部眼科講師、2000年 ハーバード大学博士研究員、2002年 信州大学医学部眼科助教授、2003年 神戸市立中央市民病院眼科部長、先端医療センター視覚機能再生研究チームディレクター(兼任)、2011年 先端医療センター病院眼科統括部長(兼任)、2017年より現職。

長船 健二 氏 京都大学 iPS細胞研究所 副所長 教授



1996年 京都大学医学部 卒業、1996年～2000年 京都大学医学部附属病院などで腎臓内科学の臨床に従事、2000年 東京大学大学院理学系研究科博士課程(浅島 誠 教授)入学、2003年 修了(理学博士取得)、2003年 東京大学大学院総合文化研究科(浅島 誠 教授)研究員、2005年 ハーバード大学幹細胞再生生物学教室(Douglas A. Melton 教授)客員研究員、2008年 科学技術振興機構(JST) さきがけ研究員、京都大学iPS細胞研究所講師、2010年 同准教授、2014年 同教授。

木村 徹 氏 住友ファーマ 代表取締役社長



1984年大阪大学基礎工学部卒業、1989年京都大学大学院理学研究科博士課程修了(理学博士)、1989年住友化学工業株式会社(現住友化学株式会社)入社、1992年住友製薬(現住友ファーマ株式会社)移籍、九州大学派遣、ハーバード大学派遣を経て2013年再生・細胞医薬事業推進室長、2015年執行役員、2016年取締役 兼 執行役員、2022年代表取締役専務執行役員、2024年代表取締役社長、現在に至る。

鈴木 丈太郎 氏 アステラス製薬 プライマリ・フォーカス・リード Blindness & Regeneration



東京工業大学大学院生命理工学研究科修了(理学博士)。2000年に山之内製薬入社。アルツハイマー病、泌尿器疾患などの研究プロジェクトに携わり、2007年から米国ソーク研究所で細胞リプログラミングの研究を行う。帰国後、抗体研究のチームリーダーを経て、アステラス・イノベーション・マネジメント部で国際共同研究およびバイオベンチャーとの提携をリードする。研究ユニット長(眼科・遺伝子治療)、製品戦略部科学戦略グループ長を務め、2019年よりプライマリ・フォーカス・リードとして、主に眼科領域における細胞・遺伝子治療・再生医療のグローバル研究開発戦略および事業開発戦略を担う。

久保田 文 氏 日経バイオテック 編集長



2002年東京農工大学農学部卒業、同年日経BPに入社。2002年から7年間、月刊誌の日経バイオビジネス(現在は休刊)、ニューズレターの日経バイオテックの記者として、国内外のバイオ・ヘルスケア業界を取材、記事を執筆した。2009年からは、医師向けの日経メディカルの記者として、終末期医療や新型インフルエンザ、東日本大震災などを取材、記事を執筆。2014年1月から日経バイオテック副編集長、2023年4月から現職。製薬業界におけるモダリティの多様化などに重点を置き、取材、記事を執筆している。



駐車場はございませんので、お車でお越しの場合は近隣のコインパーキングをご利用ください。

お申し込みはこちらから

下記 URL から必要事項をご記入の上、お申し込みください
<https://events.nikkei.co.jp/75107/>

【会場聴講】 2025/9/24(水)
【オンライン聴講】 2025/10/3(金)

会場聴講はお申し込み多数の場合、抽選となります。
結果は9月25日(木)にメールでお知らせします。



第3回大阪・未来医療フォーラム

所在地

大阪市北区中之島4丁目3番51号 Nakanoshima Cross 1階

アクセス

- ・京阪中之島線「中之島駅」渡辺橋駅 徒歩約5分
- ・大阪メトロ 四つ橋線「肥後橋駅」徒歩約10分
- ・大阪メトロ御堂筋線・京阪本線「淀屋橋駅」徒歩約15分
- ・JR大阪環状線「福島駅」東西線「新福島駅」徒歩約10分
- ・阪神本線「福島駅」徒歩約10分